

令和 7 年度 事業 報告 書

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日)

1. 事業概要

令和 7 年の畜産物の生産に関しては、各畜種とも概ね順調に推移したが、牛肉で前年比 1. 2 %、鶏卵で同 1. 1 %とわずかながら減少がみられた。

また、畜産物の需要に影響を与える経済活動については、円安の恩恵などから外国人観光客が、はじめて 4 千万人を上回り、その消費額も過去最高を更新するなど、インバウンド需要を中心として好調に推移した。

一方で長引くウクライナ侵攻に加えて、米国・イスラエルによるイラン攻撃に起因する原油価格の上昇と大幅な円安の影響により飼料や資材の価格高騰が長期に渡るなど、全ての畜種においてその経営に影響を及ぼした。

こうした中、肉用子牛価格は出荷頭数の減少により回復し、豚肉・鶏肉・鶏卵価格は家畜伝染病の影響や物価高騰による値ごろ商品へのシフト需要などから高値で推移、酪農においても乳価の見直しなどにより価格転嫁が進んだ。

このような情勢を踏まえ、当協会では、生産基盤を強化・維持するために国において事業化されている肉用牛経営安定対策補完事業などの事業実施主体として多くの生産者に支援し、畜産経営継続の後押しを行った。

また、肉用子牛生産者補給金事業、肉用牛肥育経営安定事業などの畜産経営を安定させるための各種支援事業や経営指導支援に加え、家畜伝染病対策として、日常的な衛生管理の強化や農場の清浄性の維持を図るための取り組みについて、関係団体との連携を強化しつつ関係事業の実施に努めた。

令和 7 年度における各種事業の具体的な実施状況は以下のとおりである。

2. 事業の実施状況

I. 法人運営管理

1. 総 会

(1) 定時総会

開催日・場所 令和 7 年 6 月 2 3 日 (月) 島根 J A ビル
議 案

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告書、財務諸表の承認について

第 2 号議案 役員の辞任に伴う補欠選任について

(2) 第 1 回臨時総会 (書面決議)

開催日・場所 令和 7 年 7 月 2 5 日 (金) 島根 J A ビル
議 案

第 1 号議案 役員辞任に伴う補欠選任について

(3) 第2回臨時総会（書面決議）

開催日・場所 令和7年9月5日（金） 島根JAビル

議 案

第1号議案 役員辞任に伴う補欠選任について

(4) 第3回臨時総会

開催日・場所 令和8年3月26日（木） 島根JAビル

議 案

第1号議案 令和8年度事業計画及び収支予算について

第2号議案 生産者積立金融資事業資金の借入れについて

付 帯 決 議

2. 理 事 会

(1) 第1回理事会（書面決議）

開催日・場所 令和7年6月6日（金） 島根JAビル

議 案

第1号議案 令和6年度事業報告書、財務諸表の承認について

第2号議案 第7業務対象年間終了時における肉用子牛生産者積立準備金の残高の取扱いについて

第3号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る生産者積立準備金の業務対象年間途中における令和7年度の返還について

第4号議案 公益社団法人島根県畜産振興協会会長の利益相反取引について

第5号議案 役員の辞任に伴う補欠選任について

第6号議案 令和7年度定時総会の開催について

第7号議案 嘱託職員等給与規程の一部改正について

第8号議案 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について

第9号議案 その他

付帯決議

(2) 第2回理事会（書面決議）

開催日・場所 令和7年7月10日（木） 島根JAビル

議 案

第1号議案 役員の辞任に伴う補欠選任について

第2号議案 令和7年度第1回臨時総会の開催について

(3) 第3回理事会

開催日・場所 令和7年7月25日（金） 島根JAビル

議 案

第1号議案 会長及び副会長の辞任に伴う補欠選定について
報告事項

令和7年度肉用牛肥育経営安定対策補完事業実施要領の制定について

(4) 第4回理事会（書面決議）

開催日・場所 令和7年8月18日（月） 島根JAビル

議 案

第1号議案 役員の辞任に伴う補欠選任について

第2号議案 令和7年度第2回臨時総会の開催について

(5) 第5回理事会（書面決議）

開催日・場所 令和7年9月16日（火） 島根JAビル

議 案

第1号議案 副会長の選定について

(6) 第6回理事会（書面決議）

開催日・場所 令和7年11月12日（水） 島根JAビル

議 案

第1号議案 特定費用準備資金及び資産取得資金の取扱規程の制定について

(7) 第7回理事会（書面決議）

開催日・場所 令和8年1月7日（水） 島根JAビル

議 案

第1号議案 公益充実資金の取扱規程の制定について

(8) 第8回理事会

開催日・場所 令和8年3月2日（月） 島根JAビル

議 案

第1号議案 令和7年度収支補正予算について

第2号議案 令和8年度事業計画および収支予算について

第3号議案 生産者積立金融資事業資金の借入れについて

第4号議案 令和8年度役員報酬の決定について

第5号議案 令和7年度第3回臨時総会の開催について

第6号議案 その他

付帯決議

3. 監 査 会

(1) 令和6年度監査会

開催日・場所 令和7年5月28日（水） 島根JAビル

監査内容 令和6年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、付属明細書、財産目録について監査を受け、適正なものと認められた。

4. 会員の状況

区 分	期 首	入 会	退 会	期 末
正 会 員	1 4	0	0	1 4
賛助会員	0	0	0	0
計	1 4	0	0	1 4

Ⅱ. 公益目的事業

1. 畜産農家に対する経営の支援・指導のための事業

(1) 畜産経営支援・指導事業

ア. 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会）

実績額 16,454千円

地域畜産振興のため畜産経営の支援体制の強化を図る事業、地域畜産の活性化・安全かつ安定的な食の提供に資するための事業及び馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業を実施した。

イ. 畜産経営技術高度化推進事業（自主財源）

実績額 100千円

県内畜産経営体の経営改善・生産力向上のための指導、研修会の開催や情報提供等を行うことにより、本県畜産を担う経営感覚の優れた生産性の高い畜産経営体の育成を図った。

<簿記研修会開催実績>

開催地域	回数	受講者
大田	2回	延べ5名

ウ. 畜産特別資金等推進指導事業（（公社）中央畜産会）

実績額 757千円

畜産特別資金等借受者の経営状況等を把握するための現地調査及び助言・指導等を行った。

区 分	回数	備 考
都道府県支援推進協議会の開催	1回	8名出席
経営改善計画達成指導に係る現地調査	延べ6回	借受者3戸（各戸2回）
借受者の経営改善のための指導資料作成	10部	指導に係る現地調査結果等

エ. 畜産物理解醸成促進事業（自主事業）

実績額 975千円

馬事普及啓発の取り組みを通じて、県外において「しまね和牛」をPRすることで地域畜産物に関する理解醸成を図った。

<しまね和牛PR実績>

開催時期	場所	内容	配布人数
令和7年7月	園田競馬場	来場者に対して、しまね和牛ビーフカレーやチラシ等を配布した。	500名
令和7年8月	名古屋競馬場		100名
令和7年11月	川崎競馬場		200名

(2) 農業機械・装置貸付事業等指導事業

ア. 貸付事業指導等事業 ((公財)畜産近代化リース協会)

実績額 245千円

畜産近代化リース協会から畜産農家に対して貸付された機械施設の確認及び管理状況を調査し、適正な利用についての指導を実施するとともに、リース機械施設の利用拡大を図った。

<貸付状況>

最終借受者数	貸付機械数
5	11

イ. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 ((公社)中央畜産会)

実績額 1,921千円

- 1) 畜産クラスター協議会の中心的経営体が取り組む収益力強化のための機械導入(リース等)事業について、事業の推進業務や事業申請書等の取りまとめ、県との協議窓口業務等を行った。

参加要望協議会数	参加要望取組主体数	参加申請取組主体数	申請機械装置件数
2	3	7	11

- 2) 導入された機械装置の取組主体、リース事業者による検収作業を補完するため、現地確認作業を実施した。

協議会数	取組主体数	機械装置数
1	1	1

ウ. 酪農経営支援総合対策事業(酪農労働省力化対策事業)((公社)中央畜産会)

実績額 84千円

酪農における労働負担軽減に資する機械装置等導入事業の円滑な推進を図るため、県内における事業推進会議の開催及び参加要望の取りまとめ等を行った。

区 分	回 数	備 考
事業推進会議の開催	1	推進会議開催
事業参加要望の取りまとめ	1	

エ. ICT 化等機械装置等導入事業（(公社) 中央畜産会）

実績額 83千円

ICT 化等機械装置等導入事業の円滑な推進を図るため、県内における事業推進会議の開催及び事業参加要望の取りまとめ等を行った。

区 分	回 数	備 考
事業推進会議の開催	1	推進会議開催
事業参加要望の取りまとめ	1	

2. 畜産経営安定のための補給金等の交付や生産活動の支援等のための事業

(1) 畜産物価格安定対策事業

ア. 肉用子牛生産者補給金制度（(独) 農畜産業振興機構・生産者手数料）

実績額 21,599千円

肉用子牛の価格が低落し、一定の基準価格を下回った場合に、生産者に対し補給金を交付し肉用子牛生産の安定を図る事業である。

令和7年1月～3月期はその他の肉専用種において平均売買価格が保証基準価格を下回り生産者補給金の発動があったが、本県においては該当する子牛がいなかったため交付はなかった。

令和7年4月1日より肉用子牛保証基準価格及び合理化目標価格が改定された。

1) 生産者積立金造成内訳

単位：頭、円

品種区分	契約 頭数	積立 単価	積立額	積立額（負担区分）		
				国	県	生産者
黒毛和種	7,152	1,600	11,443,200	5,721,600	2,860,800	2,860,800
褐毛和種	0	6,000	0	0	0	0
その他の肉専用種	0	18,800	0	0	0	0
	0	20,000	0	0	0	0
乳 用 種	27	6,800	183,600	91,800	45,900	45,900
	9	5,000	45,000	22,500	11,250	11,250
交 雑 種	543	3,200	1,737,600	868,800	434,400	434,400
	1,305	2,400	3,132,000	1,566,000	783,000	783,000
合 計	9,036	—	16,541,400	8,270,700	4,135,350	4,135,350

(注) 1. 契約頭数及び積立造成時期は、令和7年1月～12月

2. 契約生産者の1頭当たり積立金額

【R7.1～3月】 黒毛和種：400円、褐毛和種：1,500円、その他の肉専用種：4,700円
乳用種：1,700円、交雑種：800円

【R7.4～12月】 黒毛和種：400円、褐毛和種：1,500円、その他の肉専用種：5,000円
乳用種：1,250円、交雑種：600円

2) 特別の積立金

<旧高騰時積立金>

単位：円

品種区分 区分		黒毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	計
期首残高		753,482	0	0	0	753,482
増加	積立金	0	0	0	0	0
	運用益	834	0	0	0	834
	小計	834	0	0	0	834
減少	普通財産へ繰入	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0
期末残高		754,316	0	0	0	754,316

<償還特別積立金>

単位：円

品種区分 区分		黒毛 和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	計
期首残高		0	9,781,016	6,554,304	23,316,068	39,651,388
増加	積立金	0	0	0	0	0
	運用益	0	12,366	8,286	30,118	50,770
	小計	0	12,366	8,286	30,118	50,770
減少	償還円滑化積立金繰入	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0
期末残高		0	9,793,382	6,562,590	23,346,186	39,702,158

3) 償還円滑化積立金の造成状況

なし

4) 生産者補給交付金交付状況

単位：戸、頭、円

区 分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合 計
契約生産者数		—	—	—	—	568
契約登録頭数		7,152	0	36	1,848	9,036
保証基準価格	(R7. 1-3月)	564,000	328,000	164,000	274,000	—
	(R7. 4-12月)	574,000	334,000			
合理化目標価格	(R7. 1-3月)	444,000	258,000	110,000	216,000	—
	(R7. 4-12月)	446,000	259,000			
R7 1～3 月	平均売買価格	589,700	278,100	205,200	389,400	—
	生産者補給金単価	—	49,900	—	—	—
	交付対象頭数	—	0	—	—	—
	生産者補給金 交付額	—	0	—	—	—
R7 4～6 月	平均売買価格	650,900	—	254,700	382,500	—
	生産者補給金単価	—	—	—	—	—
	交付対象頭数	—	—	—	—	—
	生産者補給金 交付額	—	—	—	—	—
R7 7～9 月	平均売買価格	647,800	—	220,600	392,800	—
	生産者補給金単価	—	—	—	—	—
	交付対象頭数	—	—	—	—	—
	生産者補給金 交付額	—	—	—	—	—
R7 10～ 12月	平均売買価格	715,500	—	218,000	448,500	—
	生産者補給金単価	—	—	—	—	—
	交付対象頭数	—	—	—	—	—
	生産者補給金 交付額	—	—	—	—	—
合計	交付対象頭数	—	0	—	—	0
	生産者補給金 交付額	—	0	—	—	0

※「その他の肉専用種」については、令和2年度より算定期間が1年(4月～3月)となった。

イ. 優良和子牛生産推進緊急支援事業（(独)農畜産業振興機構）

実績額 14,774千円

肉用子牛生産基盤の安定を図るため、飼養管理向上のための取組を複数実施する和子牛（黒毛和種・褐毛和種・その他の肉専用種）の生産者に対し、四半期ごとに公表される平均価格が一定の基準価格を下回った場合に、取組数に応じた奨励金を交付する。

令和6年第4四半期は黒毛和種において平均価格が発動基準価格を下回ったため奨励金総額14,010千円の交付を行った。

奨励金交付状況

単位：戸、頭、円

	品種区分	黒毛和種			合 計
	奨励金単価	10,000	20,000	30,000	—
R7 1～3月	交付対象頭数	1,401	—	—	1,401
	奨励金交付額	14,010,000	—	—	14,010,000
R7 4～6月	交付対象頭数	0	0	0	0
	奨励金交付額	0	0	0	0
R7 7～9月	交付対象頭数	0	0	0	0
	奨励金交付額	0	0	0	0
R7 10～12月	交付対象頭数	0	0	0	0
	奨励金交付額	0	0	0	0
合計	交付対象生産者数	319			
	交付対象頭数	1,401			
	奨励金交付額	14,010,000			

※奨励金については、ブロック別に算出。

ウ. 和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業（(独)農畜産業振興機構）

実績額 604千円

肉用子牛生産基盤の安定を図るため、産地の基盤強化に資する取組を実施する和子牛（黒毛和種・褐毛和種・その他の肉専用種）の生産者に対し、四半期ごとに公表される平均価格が一定の基準価格を下回った場合に、奨励金を交付する。

令和7年度は基準価格を下回らなかったため奨励金の交付はなかった。

奨励金交付状況

単位：戸、頭、円

	品種区分	黒毛和種		合 計
		離島等以外	離島等	
	奨励金単価	10,000	50,000	—
R7 4～6月	交付対象頭数	0	0	0
	奨励金交付額	0	0	0
R7 7～9月	交付対象頭数	0	0	0
	奨励金交付額	0	0	0
R7 10～12月	交付対象頭数	0	0	0
	奨励金交付額	0	0	0
合計	交付対象生産者数	0		0
	交付対象頭数	0		0
	奨励金交付額	0		0

※奨励金については、ブロック別に算出。

エ. 肉用牛肥育経営安定交付金制度（(独)農畜産業振興機構・生産者手数料）

実績額 21,859千円

肥育牛1頭当たりの粗収益が生産費を下回った場合に、契約生産者に対して、その差額の90%を交付金として交付する。交付時にはその4分の3を国の交付金から、4分の1を生産者負担金から交付する。交雑種及び乳用種に対し総額7,946千円余の交付を行った。

<令和7年度の契約状況>

契約生産者数	29戸	事務委託団体数	2団体
--------	-----	---------	-----

<令和7年度の生産者負担金積立額>

単位：頭、円

	負担金単価	頭数	金額	備 考
肉専用種	5,000	7,486	37,430,000	在庫牛 2,106 頭再積立分含む
交雑種	17,000	3,902	66,334,000	在庫牛 1,483 頭再積立分含む
乳用種	18,000	65	1,170,000	在庫牛 12 頭再積立分含む
計	—	11,453	104,934,000	

※在庫牛：前業務対象年間に負担金徴収済みで、未販売の登録牛。

新業務対象年間の単価で再度積み立てる。

<交付金単価(1頭当たり単価)の推移>

単位：円

販売月	肉専用種	交雑種	乳用種
R7年 4月	—	—	21,422.7
R7年 5月	—	—	29,549.7
R7年 6月	—	6,866.1	27,264.6
R7年 7月	—	—	41,716.8
R7年 8月	—	7,277.4	33,453.9
R7年 9月	—	10,432.8	33,977.7
R7年 10月	—	—	9,699.3
R7年 11月	—	—	24,517.8
R7年 12月	—	—	64,852.2
R8年 1月	—	—	37,195.2
R8年 2月	—	—	30,357.9
R8年 3月	—	—	28,743.3

<令和7年度（R7年4月期～R8年3月期）交付金交付頭数、金額>

単位：人、頭、円

品種区分	人数（のべ）	頭 数	金 額
肉専用種	0	0	0
交雑種	19	731	6,210,474
乳用種	13	54	1,736,030
計	32	785	7,946,504

（２）肉用牛経営安定対策を補完する事業

ア．肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）

（（独）農畜産業振興機構）

実績額 16,681千円

繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎を整備する場合や、生産農家が互いに助け合う肉用牛ヘルパー活動、条件不利地域である離島での肉用牛生産などに対し補助金を交付することにより、各地域の自主性と創意工夫による生産活動への支援を行った。

14団体に対し、総額12,710千円余を交付した。

<事業の内容と事業費>

単位：円

区 分	事業費		事業実施集団
		うち補助金	
1. 肉用牛生産基盤強化対策事業			
(1) 中核的担い手育成増頭推進	0	0	
(2) 遺伝的多様性に配慮した改良 基盤確保	0	0	
(3) 繁殖雌牛の増頭に資する簡易 牛舎等の整備	701,602	318,910	JAしまね隠岐どうぜん地区本部
(4) 肉用牛ヘルパー活動推進	10,219,152	3,867,848	やすぎ肉用牛ヘルパー組合他9集団
(5) 特定地域肉用牛広域処理円滑 化支援	379,518	270,388	隠岐島後・島前死亡牛協議会
(6) 肉用牛振興推進指導	2,680,541	2,680,541	島根県畜産振興協会
2. 地域の特色ある肉用牛振興対策事業			
(1) 地方特定品種等の振興	0	0	
(2) 離島・山振地域肉用牛振興	8,253,290	8,253,290	JAしまね（畜産課）
(3) 肉用牛振興推進指導	1,289,870	1,289,870	島根県畜産振興協会
合 計	23,523,973	16,680,847	

イ. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業のうち優良繁殖雌牛更新加速化事業

((一社) 全国肉用牛振興基金協会) 委託

実績額 1, 4 3 1 千円

肉用牛の生産基盤強化のため、高齢の繁殖雌牛から優良な若い繁殖雌牛に更新する事業について、事業の推進業務や事業申請書等のとりまとめ等を行った。

10 団体に対し、総額 25, 6 3 6 千円の交付となった。

単位：頭、円

取組主体名	頭数	奨励金 交付金額	推進 事務費	交付額計
安来地区畜産クラスター協議会	4	400, 000	1, 200	401, 200
隠岐の島町畜産クラスター協議会	21	2, 300, 000	1, 800	2, 301, 800
隠岐島前畜産クラスター協議会	34	4, 250, 000	32, 096	4, 282, 096
出雲地区畜産クラスター協議会	28	3, 200, 000	0	3, 200, 000
島根県農業協同組合石見銀山地区本部	17	2, 000, 000	0	2, 000, 000
島根おおち畜産クラスター協議会	5	550, 000	1, 200	551, 200
いわみ中央地区酪農・肉用牛クラスター協議会	6	600, 000	0	600, 000
石西地域畜産推進協議会	31	3, 400, 000	0	3, 400, 000
三瓶開拓酪農農業協同組合	2	250, 000	0	250, 000
一般社団法人配合飼料価格安定基金協会	72	8, 650, 000	0	8, 650, 000
合 計	220	25, 600, 000	36, 296	25, 636, 296

(3) 和牛改良支援事業

ア. 島根県肉用牛とも補償制度 (島根県)

実績額 4 0 0 千円

種雄牛造成を組織的、効率的に推進するため、新規種雄牛の交配と産子取得及び産肉能力調査に協力した生産者に対して総額 8, 6 4 0 千円の助成金を交付した。

(内訳 県補助金 5, 6 5 8 千円、生産者負担金 (とも補償財源) 2, 9 8 2 千円)

3. 家畜・畜産物の衛生対策等に係る支援・指導のための事業

(1) 家畜防疫・衛生対策事業

ア. 家畜生産農場衛生対策事業（農林水産省）

実績額 7,188千円

牛ヨーネ病及び伝染性リンパ腫（E B L）、牛伝染性下痢症（B V D）の感染拡大防止対策、伝染性疾病の発生・流行防止のための予防接種を実施し、家畜衛生対策の強化を図った。

1) ヨーネ病対策

＜令和7年度ヨーネ病とう汰推進費交付状況＞

実施地域	交付頭数	検査機関
飯 南 町	1	家畜保健衛生所
益 田 市	1	

2) E B L感染拡大防止対策

＜令和7年度E B L検査実施状況＞

実施地域	検査頭数	検査機関
安 来 市	2 9	家畜保健衛生所
出 雲 市	2 4 3	
雲 南 市	8	
飯 南 町	6 3	
大 田 市	1 7 2	
浜 田 市	1, 2 2 0	
江 津 市	2 4	
川 本 町	3 4	
美 郷 町	1 5 7	
益 田 市	1, 9 9 0	
津 和 野 町	1 0 5	
計	4, 0 4 5	

3) B V D対策

＜令和7年度P I牛のとう汰費交付状況＞

実施地域	交付頭数	検査機関
出雲市	1	家畜保健衛生所
益田市	2	

イ. 家畜伝染病発生予防事業（独自事業）

実績額 45,988千円

家畜伝染病の発生予防及びまん延防止、清浄性の維持を図るため予防接種を推進した。

1) 広報事業等

家畜衛生対策の普及啓発と情報提供のため、以下の広報事業等を実施した。

ア)生産者及び関係機関に各種衛生関係パンフレット、カレンダー等を配布した。

イ)防疫指導機関及び指定獣医師に動薬手帳等を配布した。

2) 予防注射の実施

家畜伝染病の発生、流行防止のため家畜自衛防疫団体及び指定獣医師等と連携し、以下の予防注射を行った。

＜令和7年度主要予防注射実施実績＞

予防注射の種類	実施頭数	前年対比 (%)
牛5種混合(牛伝染性鼻気管炎)	5,183	93
牛イバラキ病	2,080	126
牛ヘモフィルス感染症	4,946	94
牛アカバネ病 ※	490	167
牛異常産4種混合 ※	11,123	98
馬3種混合、馬インフル、日本脳炎	133	100

参考：※印は家畜生産農場衛生対策事業対象疾病

3) 飼養衛生管理基準啓発普及支援事業

家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」の啓発普及を支援することにより、生産段階における防疫措置・体制の一層の強化・推進を図るため、以下の事業を実施した。

ア)高病原性鳥インフルエンザの蔓延防止のために鶏を100羽以上飼養している農家に飼養規模に応じ消石灰を配布した。

ウ. 家畜防疫・衛生指導対策事業（(公社)中央畜産会）

実績額 1,713千円

1) 地域自衛防疫推進事業

家畜伝染病発生時の対応等を支援するため、防疫演習を行うと共に飼養衛生管理基準に基づく防疫対策の取組等の検討を実施した。

ア) 地域自衛防疫強化推進対策

地域自衛防疫体制の確認、防疫演習等の有効活動方策等の検討会の開催(年2回)

イ) 地域自衛防疫対策の推進（防疫演習の共催）

高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫、豚熱並びにアフリカ豚熱の防疫対策として、県が開催する防疫演習を支援し、防疫体制の整備・定着を図った。(防疫演習：11回)

2) 地域農場HACCP認証支援事業

生産農場での衛生管理システム構築、内部検証及び継続的な改善の実施など農場HACCPの取組みを推進し、農場HACCP認証制度の普及促進を図った。

ア) 普及推進協議会等開催

①普及推進協議会

地域における畜産関係団体、農場HACCP関係者による普及推進のための方策について検討

②地域取組促進活動

地域における農場HACCP関係者による、普及推進のための方策の検討、農場への取組みの周知などの活動

・農場HACCP認証制度研修会・講習会

・農場HACCP認証制度取組調査

イ) 農場HACCP認証構築指導推進事業

①構築指導意見交換

②構築指導事業

3) 地域推進事務費

上記ウ.の1)及び2)の事業を円滑に推進するための事務費

エ. 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（(公社)中央畜産会）

実績額 530千円

地域における自主防疫活動の強化を図るため、競走馬以外の乗用馬等に対する馬インフルエンザ等のワクチン接種の推進及び馬飼養衛生状況等の知識の普及啓発などの取組みを行い馬伝染性防疫推進の徹底に努めた。

馬防疫推進のため、地域対策検討会を開催した。

<地域対策検討会開催状況>

開催時期	開催場所	参集機関	内 容
令和7年7月 令和8年2月	出雲市 (書面)	県家畜衛生関係機関 JAしまね、獣医師会 県農業共済組合	事業実施状況の報告及び事業推進、馬インフルエンザ等のワクチン接種推進の協議

オ. 馬飼養衛生管理特別対策事業（(公社)中央畜産会）

実績額 900千円

馬防疫推進のため、委員会及び講習会の開催と馬獣医療実態調査を実施した。

<委員会開催状況>

開催時期	開催場所	参集機関	内 容
令和7年7月	出雲市	県家畜衛生関係機関 JAしまね、獣医師会 県農業共済組合	事業実施状況の報告及び事業推進、講習会開催等の協議

<馬獣医療実態調査実施状況>

調査時期	調査戸数	内 容
令和7年10月	19	家畜伝染病予防法に基づく飼養衛生管理区域の設定、重要な馬伝染性疾患の認識度、地域獣医療の実態調査県下全域

<馬衛生管理技術地方講習会開催状況>

開催時期	場 所	参加者	講 師	講演内容
令和7年9月	浜田市	20名	山口大学 共同獣医学部	馬の跛行診断およびXray読影のポイント

<馬衛生普及検討会開催状況>

開催時期	場 所	参加者	講 師	講演内容
令和7年10月	西ノ島町	12名	JRA 獣医師	馬の健康管理および日常遭遇する疾病とその対策

カ. 牛疾病検査円滑化推進対策事業（農林水産省）

実績額 146千円

死亡牛について、獣医師がBSE検査の要否を判断するに当たり必要となる情報の提供及び死亡牛の発生場所からBSE検査のための採材施設に搬入されるまでの間の適正な管理・輸送の促進を支援した。

<令和7年度死亡牛検査促進・支援実績>

補助対象頭数	生産者に対する補助金交付実績
—	—

キ. 家畜防疫互助基金支援事業（(公社)中央畜産会)

実績額 1,900千円

家畜の伝染病が発生した場合（口蹄疫、牛疫、牛肺疫、CSF及びASF）、農家への経営支援策として生産者と国で基金を造成し、生産者の経済的損失を生産者が互助補償する事業に養豚農場、各JA及び酪農組合の協力を得て本事業を推進し、生産者積立基金を造成した。

<令和7年度契約戸数・頭数及び生産者積立実績>

単位：戸、頭、円

畜種	飼養戸数	飼養頭数	加入者数(加入率)	契約頭数(加入率)	積立金
乳用牛	696	11,677	541 (77.7%)	11,173 (95.7%)	2,341,360
肉用牛		30,317		28,172 (92.9%)	4,331,980
豚	7	37,200	5 (71.4%)	38,653 (103.9%)	3,900,140
計	703	79,194	546 (77.7%)	77,998 (98.5%)	10,573,480

(注) 飼養戸数及び飼養頭数：令和7年2月1日調査

(2) 獣医師養成確保対策事業

ア. 獣医師養成確保修学資金給付事業（農林水産省・島根県）

実績額 11,606千円

本県での産業動物臨床獣医師への就業を志す獣医学生に対し、獣医修学資金の給付を行い、産業動物臨床獣医師の安定的確保を図るため、給付希望学生を募集し、5名の学生（継続3名、新規2名）に対して獣医修学資金を給付した。

イ. 獣医師確保対策就職奨励金給付事業（島根県）

実績額 551千円

令和7年度の給付対象者は1名であった。

(平成28年度基金造成費 10,000千円 給付金額：500千円/名)

<令和7年度奨励金実績>

ア) 就職奨励金実績 1名分： 500,000円
 イ) 就職奨励金残額 3名分：1,500,000円

Ⅲ. 収益事業等

収益 1 書籍販売事業

実績額 110千円

中央畜産会の月刊誌「畜産コンサルタント」その他参考となる図書の購読を斡旋した。

その他 1 調査事務等受託事業

(1) 地域畜産支援指導等体制強化事業（(公社)中央畜産会)

実績額 2,500千円

生産者等からの各種相談に応じるため、相談窓口を設置し、総括畜産コンサルタント、畜産コンサルタント及び非常勤コンサルタントを配置した。

また、適切な対応を行うために、所属役職員は研修会等に参加し、スキルアップを図った。

さらに、「中国ブロック合同畜産女性交流会」の支援を行った。

その他 2 事務局事務受託事業

実績額 6,791千円

県内で活動する畜産関係団体等の事務局業務を受託実施した。

また、畜産団体相互の交流事業に対する支援を行った。

事務局事務受託先	
島根県牛乳普及協会	しまね畜産女性ネットワーク
島根県乳業協会	島根県死亡家畜処理推進連合協議会
島根県養鶏協会	島根県養鶏クラスター推進協議会
島根県馬事畜産振興協議会	島根県肉用牛とも補償運営委員会
家畜商講習会	